

森泉荘だより

第 9 号
H. 3. 8. 1

「地域福祉」を考える

庄 司 善 男

所得者型で進められた中心の行政が強いが、高齢化社会の進展に伴い、福祉に対する要求が多様化、高度化の中で、社会福祉の基本的な方向へと変わりつつある。地域福祉の方向へと変わって来た。

でも、地域住民が主体となる社会福祉協議会の占める役割が、地域活動の実践過程では、地域組織化活動の進め方として、地域住民が抱える生活の問題や福祉欲求を調査し、これを一人暮らし者など電話番号方式にまとめた「福祉帳」や在宅福祉サービスが一目でわかる「福祉サードブック」は福祉事業を活動する上で有意だったのは言うまでもないが、地域の人が少額ずつの会費を出し合っ作成したことから、住民個々の福祉に対する意義の高揚を図り、自分も参加しているという共同の感情や役割の自覚といった意味でも、大変意義深

このように、望ましい地域福祉を展開していこうとするとき、「地域」というよりよい土壌作りの大切さである。幸い町内の各々が、福祉教育を大きく取り上げた結果、朝夕のあいさつが活発になったり、老人ホームにボランティアが来た回数が多くなった。話が増えるが、最近、カタカナ語が増え、福祉にも「ニーズ」とか「ケア」といった言葉がよく出てくる。ケアとはもと「世話をする」と「保護する」の意味だ。他人が少し掘り下げれば「他人がたの願っていることか。その人が助け合っていることを他の人が助け合っていることか。注意して見守り、必要あらば世話したり、保護すること、と理解したい。

「ありがとう」普段何気なく使っている「お礼の言葉である。この語源は「有り難し」という仏教語だ。法句経の「人の生をうくるは命あり死すべきもの、命あるも命を驚かすを教える、教説である。だから「有り難し」とはその仏説を聞き、人の生命の尊さへの目覚めでもある。それがいつしか感謝の意に転用されるようになった。心情的に想う時、日本語の中にも、特に優れた美しい言葉であると思う。

（森泉荘・施設長）

初心を忘れずに

鈴木和子

森泉荘が開設して、今年で九年目です。昭和五年の開設が、つい昨日のように思われま

すが、量が減っているという。便秘は「器具が悪いのか、」

どの寮母もその利用者にあつた飲み物を工夫してたくさん飲んでもらっています。

最後にお願いですが、いろんな面で頑張っています。

お年寄りと介護

近藤 孝子

私は、お年寄り（おじいさん）が有りません。まして、介護など考え

安いでいっばいでした。職員の時、皆さんのご指導、

(寮母)

☆ 森泉荘職員紹介 ☆

平成三年度の森泉荘の職員配置と寮母の担当についてご紹介致します。
(七月一日現在)

施設長	庄司善男	ヤマユリ	造鈴子
事務員	柏木正人	モロ	綾子
同	石川眞利	ヤマブ	星子
管理	三浦馨	コブ	場子
栄養士	庄司栄子	リン	司京子
調理主任	田中トシ	リンド	司明美
調理員	森川孝子	サザン	庄司真喜子
同	庄司友子	シヤクナ	九嶋智子
同	庄司孝子	サク	ラ嶋トミ子
看護主任	庄司郁子	サク	中悦子
看護婦	千貝徳子	タク・マ	近藤孝子
寮母主任	吉田チヨ	(産休代替寮母)	吉田キエ
寮母	(居室担当別)	介助員(リハビリ・レク)	永井直人
ナンテン		パート職員	柴田ユキエ
コメツ	鈴木和子		
ウ	三浦京子		

管理宿直専任 田中兼雄
生活指導員 松橋照己

以上の職員で、利用者の皆様のお世話をさせて頂いたたい

ております。
どうか、面会のおりなど、担当寮母、看護婦、その他の職員に、気軽にお声をかけられまして、お年寄りの状態を、確認していただけますよう、お願い申し上げます。

(生活指導員)

平成二一年度の木林白氷荘

平成二年度の森泉荘の状況についてお知らせ致します。

(1) 新入所者状況

森吉町	三人
鷹巣町	四人
合川町	三人
阿仁町	二人
計	十二人

(5) 面会状況

面会率 (月平均) 七八・一%

入所者一人当たり

月平均 二・二回
一回当 四・五人

(2) 短期入所 延べ五四人、七三三日

※ 年間を通じて面会のなかった利用者はおりません。

(3) 入浴サービス

延べ二四回実施
延べ一三七人利用

(6) 帰省状況

※ お盆帰省 (平均) 一九人
※ 正月帰省 (平均) 四日
※ その他の帰省 (平均) 八人

(4) 給食サービス

延べ二四回実施
延べ一九六人利用

※ (平均) 八日

★厚く御礼申し上げます

平成二年一月一日
平成三年六月

奉仕

慰問

- 一月一日 前田小学校
- 一月二日 阿仁部美容師
- 一月二七日 米内沢民謡研究会
- 一月二七日 卷湖婦人会
- 三月二三日 前田更生保護婦人会
- 三月二五日 浦田民謡同好会
- 四月一四日 前田母子会
- 四月二五日 神成婦人会
- 五月一四日 阿仁部美容師組合
- 六月九日 物内婦人会
- 六月二三日 小又婦人会

佐々木久美子
加賀木久美子
長内賀木久美子
前田地区美容師組合



- 佐藤アキエ
- 木村エミ
- 北田農林事務所
- サケイ産業
- 日本たばこ店
- 大瀬館支店
- 巻木村保長人
- 前田支部
- 春日吉町母子会
- 秋吉町母子会
- 加賀元直
- 日本電信電話株式会社

☆新入所者紹介☆

平成二年一月二日から平成三年六月末までに入所された方をご紹介します。

- 田中喜久二さん 森吉町
- 播磨ソヨさん 森吉町
- 高田ナミさん 阿仁町
- 高橋キエさん 森吉町
- 山本利吉さん 森吉町

- 造幣局・泉友会
- 前田更生保護婦人会
- 九嶋フツメ
- 伊藤川藤子
- 市川徹一
- 名月会
- 森吉町
- 庄司善
- 新庄林町
- 田中サミ

勝手ながら敬称は略させていただきます。

ご注意

違おすい
間がうだ
を方うだ
号れるよ
番られる
電話えら
ご確認

0186-

75-3406

◆ バタバタと「森泉荘だより」を編集している。だが、奉仕・慰問・善意がかなり増えている。施設福祉への関心が高まっ
て、別な言い方をすれば、監視の目にさらされている。例年になく長梅雨と感
うつ。最近ではジメジメと皮膚病の蔓延や食中毒に
利用者の皆さんも散歩もできずうつつとしてい
る。こんな時サマーショ
ポランティアで女子高校生
六名が森泉荘を訪れ、施設
の空気もいきいきと動きだ
した。
◆ 余分ながら面会のおりに
は、なまめはできるだけ
避けていた。食べ切れるだけ
の量にして、残りは処分す
るか、持ち帰っていた。き